

は、地域での備蓄の拠点も考慮・検討していかなければならない。

分庁舎の駐車場

問 分庁舎を利用したが、地下駐車場に入ると、空いているのは、軽自動車用の駐車スペースがほとんどであった。仮に満車の際は、駐車場を出た先から案内がない為、どこへ駐車すればいいのかわからない。

答 満車時は、分庁舎西側の市営八木駅南駐車場を案内する計画である。それでもまだあふれる車両がある場合は、本庁舎駐車場の利用を考えている。オープン以降、地下駐車場は満車になっていないが、4月には多数の市民が来られると想定されるので、八木駅南駐車場、本庁舎駐車場を利用するケースも考えられる。

問 現状、地下駐車場が満車になっても、今後の為にも周知を考えるべきではないか。現在どのように周知しているのか。

答 オープン時点では、市職員が各沿道に張りつき、車の

誘導など案内に努めた。今後、車があふれたときは、ほかの施設の利用を誘導することになるが、オープン時のような対応を続けることはできないので、市の広報、ホームページで、満車時の対応について周知に努めたい。

問 駐輪場を見たが、機械の使い勝手が悪そうである。高齢者など、機械の操作に慣れるまで時間が必要だと思うが、駐輪場の現状と対策は。

答 利用者から直接、「機械の操作の仕方が少しわかりづらい」との質問を受けたことがあり、操作の案内をした。同様の事案が発生してはいけないので、操作方法の張り紙もして、応急的な措置は直ちに実施した。案内は、よりわかりやすく、見栄えも気にしながら対応したい。



分庁舎駐輪場

一般質問 原山 大亮 〈いずれの会にも所属しない議員〉 〈日本維新の会〉

小・中学校の エアコン設置

問 平成29年12月議会での答弁の後、30年度当初予算で、空調設備導入調査業務委託料が計上されている。調査内容、調査後の具体的なスケジュールは。

答 今年度は、小・中学校の現状を把握した上で、導入事業期間・手法の検討をする。専門業者の調査で、財源等も最適な方法を検討し、早期設置に向けて最大限努力したい。

問 単独幼稚園10園に対するクールダウンのエアコン設置経費を12月補正予算で対応し、引き続き小・中学校でも実施予定と聞いていたが、その後の経過は。

答 入園式等が終わってから工事に着手し、夏には使用できる予定である。小・中学校では、各校で活用できる部屋の状況が異なる等の課題があり、クールダウン用のエアコン設置よりも、早期に普通教

室にエアコンを設置すべきと判断し、30年度予算にクールダウン関連経費は計上していない。

問 小・中学校の普通教室へのエアコン設置で、暑い時期でも快適な学習環境が整う。キッズウィークや英語の教科化等で、授業時間確保に苦慮する中で、夏休みを短縮する市町村も増えているが、本市の考えは。

答 30年度はキッズウィークの導入を見送る予定である。外国語の教科化対応は、当面時間割の工夫などで、授業時間の確保をする。対応は、普通教室のエアコン設置のめどが立つてから検討したい。

問 学校施設の再配置検討とエアコン設置との調整は。

答 審議会の結果が出るまで時間もかかる。統廃合等の対象でも、すぐに解体せず他に用途への活用も考えられる。老朽化等による入れかえもあり、エアコンを設置しても無駄にならないと考えているが、再配置との関連も十分考慮し、早期設置に向け取り組みたい。

問 一日でも早くエアコンを設置してほしい。キッズウィ

ーク等に他市町村が対応する中で、教育格差の拡大にもつながりかねない。予算特別委員会調査に1年、設計に1年と担当課長が答弁していたが、教育長も同様の考えか。

答 従来、エアコン設置に慎重な立場だったが、これからは最速で進めたい。早期の実現を目指す上では、31年度中に業者を決定したい。

待機児童対策

問 待機児童数の生じた時期と推移および対応状況は。

答 約10年前からであり、27年4月に発足した子ども・子育て支援新制度から急増している。各年4月1日現在で27年96人、28年45人、29年20人である。30年度は、29年度と同程度の可能性がある。受け入れ対策に、こども園の内部改修による約50人の受け入れ拡大。私立保育園は施設改修等の整備により15名程度定員を増やす等、待機児童解消に協力いただき、27年度以降だけでも、公立・私立を合わせて約300人受け入れを増やしている。